

# KENWOOD

特定小電力トランシーバー

## UBZ-BG9R

## UBZ-BG11R

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本機は日本国内専用のモデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

KENWOOD CORPORATION

---

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

●商品に関するお問い合わせはお客様相談室をご利用ください。

電話 (03) 3477 - 5335

●アフターサービスのお問い合わせはお買い上げの販売店、または最寄りのケンウッド・サービスセンターにご相談ください。(別紙“全国サービス網”をご参照ください。)

© B62-0848-00(MC)  
09 08 07 06 05 04 03 02 01 00

## 目次

安全上のご注意	3
ご使用にあたっての注意	7

### 準備編

梱包品を確認する	8
ご使用前の準備	9
バッテリーを取り付ける	9
バッテリーの残量表示について	9
充電のしかた	10
ベルトフックを取り付ける	11
スピーカーマイクロホンを取り付ける	11

### 基本編

各部の名称と機能	12
本体	12
表示部	14
基本的な通話のしかた	15
ノーマルモード編	15
レピーター運用モード編	18
運用モードの確認	22
運用モードの切り替え	22
通話モードの設定	23
グループモードの設定	23
スクランブルモードの設定	25

### 使いこなし編

便利な機能	27
オートチャンネルセレクト機能	27
振動着信機能	29
照明の常時点灯	30
ピープ音を止める	31
APOをセットする	32
こんな事もできます	33
キーロックする(誤動作防止)	33
相手をコールトーンで呼び出す	33
コールトーンの音色を変更する	34
モニター	35
こんな機能もあります	36
自動照明機能	36
バッテリーセーブ機能	36
通話時間終了予告機能	36




### 保守編

故障かなと思ったら	37
オールリセット	37
症状による確認項目	38
オプション	39
オプションの使い方	40
アフターサービスについて	42
定格	43




## 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。お読みになった後は必要などきにご覧になれるように大切に保管してください。

**絵表示について** この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

-  **危険** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。




### 絵表示の例

-  △記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
-  ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
-  ●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。具体的な指示内容が描かれています。

## 危険

### ■リチウムイオンバッテリーの取扱いについて

次のことを守らないと、けがや、バッテリーの漏液、発火、発熱、破裂を起こす原因となりますので、下記のことを必ずお守りください。

- 充電温度範囲は、5℃～45℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。 
- 専用チャージャー以外では充電しないでください。 
- 所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。このバッテリーは、UBZ-BG9R、UBZ-BG11R専用です。それ以外の機器に取り付けしないでください。 

● ストープのそばなど高温の場所で使用したり、放置しないでください。	
● 火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしないでください。	
● 端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。	
● 分解、改造や釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。	
● 漏液したり、異臭がするときは、ただちに火気より遠ざけてください。	
● 液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。	

## 警告

### ■使用環境・条件

● 交通安全上、運転しながら交信するのはおやめください。	
● 電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。	
● 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください（電源も入れないでください。）。運行の安全や無線局の運用や放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。	
● この製品を使用できるのは、日本国内のみです。外国では使用できません。	
● 目の近くで送信したり、人にアンテナを近づけて送信したりしないでください。身体に障害を起こす恐れがあります。	

### ■トランシーバー本体の取扱について

● 布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。	
● イヤホンを使用する場合、電源を入れる前に、音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。	
● 水につけたり、水をかけたりしないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。	

● 近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。	
● このトランシーバーは調整済です。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。	

### ■チャージャーの取扱について

● AC100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。	
● チャージャーのACアダプターと他の製品のACプラグのコードをタコ足配線しないでください。過熱・発火の原因となります。	
● ぬれた手でチャージャーのACアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。	
● チャージャーのACアダプターをACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。	
● チャージャーのACアダプターの刃にほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災・感電・故障の原因となります。	

## 警告

### ■異常時の処置について

<p>以下の場合、すぐに本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。お客様による修理は、危険ですから、絶対におやめください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがあるとき</li> <li>● 落したり、ケースを破損したとき</li> <li>● 内部に水や異物が入ったとき</li> <li>● ACアダプターのコードが痛んだとき（芯線の露出や断線など）</li> </ul>	
● 雷が鳴り出したら、安全のため早めに本体の電源をOFFにし、チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。	

### ■保守・点検

● 本体やチャージャーのケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。	
--	--

## ⚠ 注意

### ■使用環境・条件

● テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。	⊘
● 直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。	⊘
● 湿気が多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。	⊘
● ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	⊘
● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。	⊘

## ⚠ 注意

### ■トランシーバー本体の取扱について

● アンテナを誤って目にささないようにしてください。	!
● 外部スピーカー/マイクロホン端子にはオプションのスピーカーマイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。	⊘
● 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源をOFFにし、電池をとりはずし、チャージャーをご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。	!

### ■チャージャーの取扱について

● チャージャーのACアダプターを熱機具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。	⊘
● チャージャーのACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ずACアダプターを持って抜いてください。	⊘

### ■保守・点検

● お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。	!
● 水滴が付いたら、乾いた布でふきとってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。	!

## ご使用にあたっての注意

- 本機は2つの運用モードと、それに対応したチャンネルを有し、各モードは周波数構成が違いますので、他の機種との組み合わせにはご注意ください。  
UBZ-BG9R → ノーマルモード9チャンネル/レピーター運用モード9チャンネル  
UBZ-BG11R → ノーマルモード11チャンネル/レピーター運用モード18チャンネル
- **ノーマルモード** (シンプレックス)  
次の機種との組み合わせによる通話できませんのでご注意ください。  
UBZ-BG9R ← × → UBZ-B5, B7, B700, BA5, LF11, LG11, BG11R  
UBZ-BG11R ← × → UBZ-7, 17, L3, L5, LA5, LA7, LA7R, LF9, LG9, BG9R
- **レピーター運用モード** (セミデュプレックス)  
次の組み合わせによりオプションの中継器(レピーター)を使用できます。  
UBZ-BG9R → UBZ-RG9 (特定小電力中継器)  
UBZ-BG11R → UBZ-RG18 (特定小電力中継器)
- 通話のできる距離は地形や環境によって大きく異なりますが、目安は次のとおりです。建築物が多い地域や、自動車などの金属物体の周囲では、通話のできる距離が短くなります。  
・市街地で 100～200m  
・郊外で 1～2km
- 本機は多少の水滴がかかったり、濡れた手で使っても安心な日常生活防水仕様です。(JIS保護等級4防沫型相当)  
ただし、水をかけたり、水の中に落としたりすると故障の原因になりますのでご注意ください。
- スピーカーマイクロホン(オプション)を接続する場合、必ず付属のマイクプラグ固定金具を取り付けてください。マイクプラグ固定金具を取り付けない場合、本機はJIS保護等級4防沫型の基準を満たすことができません。また、スピーカーマイクロホンを使用しない場合は、SP/MIC端子のカバーは取り付けた状態でご使用ください。
- 激しい振動、雨、粉塵がある環境では使用しないでください。

### ■電波妨害にご注意ください

- テレビ、ラジオ、パソコンなど電子機器の近くで使用すると、電波妨害を与えたり、受けたりすることがあります。これらの機器からは離れてお使いください。

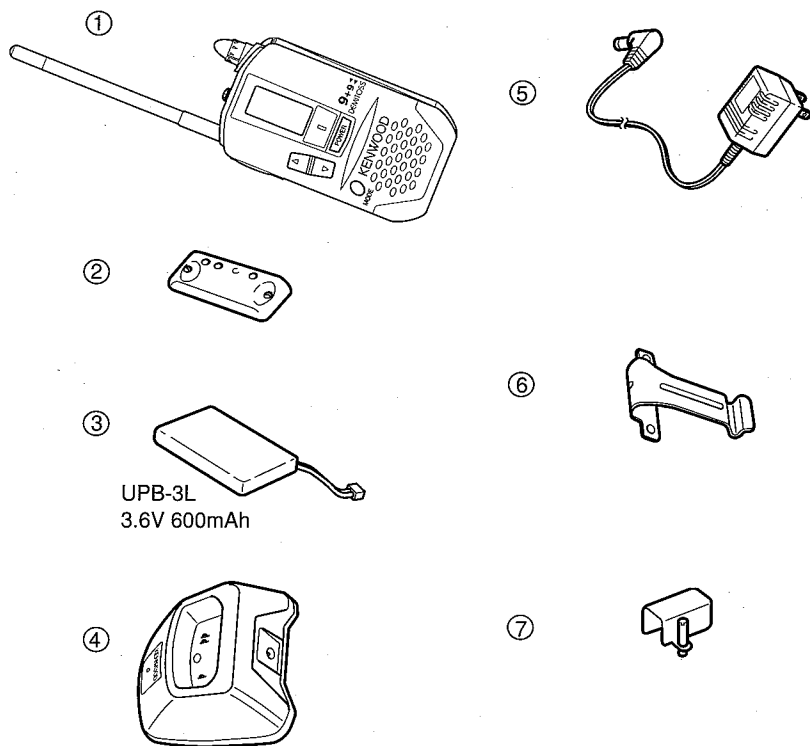
### 電波法に関するご注意

- 本機の裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。使用できなくなります。
- 本機を分解したり、改造して使用することは電波法により禁止されています。
- 他人の通信を聞いて、これを漏らしたり、窃用することは電波法により禁止されています。
- 無線機の使用が禁止されている所があります。航空機内、空港敷地内、新幹線車両内などでは使用しないでください。

## 梱包品を確認する

梱包品がすべて揃っていることを確認してください。

- |                |   |
|----------------|---|
| ① トランシーバー (本体) | 1 |
| ② バッテリーカバー     | 1 |
| ③ リチウムイオンバッテリー | 1 |
| ④ チャージャー       | 1 |
| ⑤ ACアダプター      | 1 |
| ⑥ ベルトフック       | 1 |
| ⑦ マイクプラグ固定金具   | 1 |
| ・ 保証書          | 1 |
| ・ サービス一覧表      | 1 |
| ・ 取扱説明書 (本書)   | 1 |

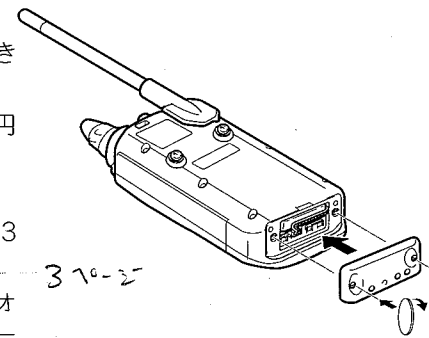
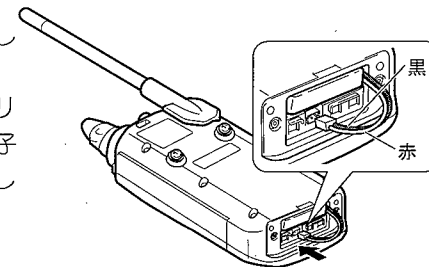
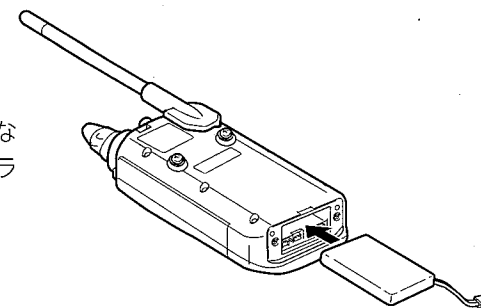


UPB-3L  
3.6V 600mAh

## ご使用前の準備

### ■バッテリーを取り付ける

1. 付属のバッテリーを本体の収納部に入れる。  
バッテリーはラベル面がスピーカー側になるようにしてください (右図では下側がラベル面になります)。
2. バッテリーの電源端子を本体に取り付ける。  
端子は赤色のコードが左側になるようにして、確実に差し込んでください。  
取り付けが終了したら、コードはバッテリーの上を通し、金色のチャージャー用端子の上にコードがかぶらないように注意してください。
3. バッテリーカバーを取り付ける。  
バッテリーカバーと本体の間に隙間ができないように注意してください。  
防水機構になっていますので、ねじは10円玉を使って完全に締め付けてください。



10円玉

バッテリーを本体から取り外すときは、操作3→1へ、取り付けと逆の作業を行います。

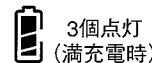
バッテリーについての注意は、⑥頁「リチウムイオンバッテリーの取扱について」と、10頁「バッテリーについて」をご覧ください。

バッテリー満充電時の運用時間の目安は約20時間です。(送信6秒、受信6秒、待ち受け48秒を繰り返した場合)

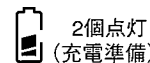
### ●バッテリーの残量表示について

バッテリーの残量目安を3段階で表示します。

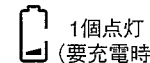
1個点灯になると、警告音がピーピーピーと3回鳴り、バッテリーが消耗していることをお知らせします。早めに電源を切り、バッテリーを充電するか、予備と交換してください。バッテリーが消耗していると電源を入れるたびに警告音が鳴ります。



3個点灯  
(満充電時)



2個点灯  
(充電準備)



1個点灯  
(要充電時)

## ■充電のしかた

はじめてお使いになるときや、使用後は必ず充電してください。

(注意)

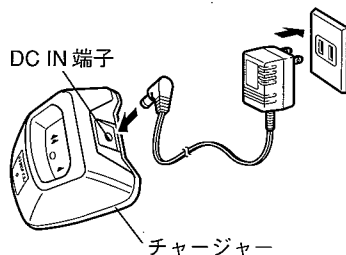
1. 必ず専用のリチウムイオンバッテリーを使用して充電してください。指定以外のバッテリーを用いて充電すると故障の原因となります。
2. 充電性能に影響を与えますので、充電する前に必ずトランシーバーの電源スイッチを切ってください。

1. ACアダプターのプラグをチャージャーのDC IN端子に差し込みます。

2. ACアダプターを電源コンセントに差し込みます。

3. 本機の電源をOFFにしてチャージャーに差し込みます。  
充電ランプが赤色に点灯します。

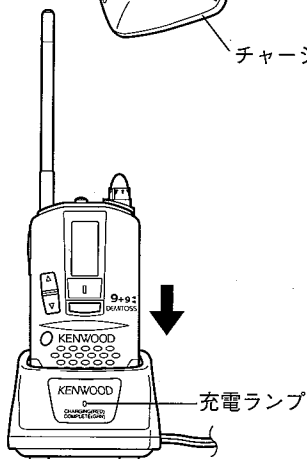
4. 充電ランプが緑色に点灯したら充電完了です。  
本機を抜き取ります。  
充電時間の目安は約4時間です。



充電ランプの表示について。

赤色：充電中

緑色：充電完了時



(注意)

・ 充電中は本機の電源を必ずOFFにしてください。

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は満充電していません。お使いになる前に専用チャージャーで必ず満充電してご使用ください。
- ・ 十分に充電しても、使用できる時間が短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお求めください。
- ・ 長時間お使いにならないときは、バッテリーをトランシーバーから取り出しておいてください。

チャージャーについて

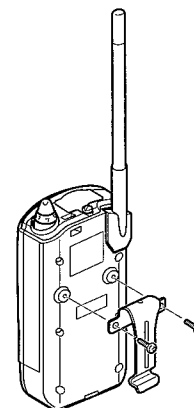
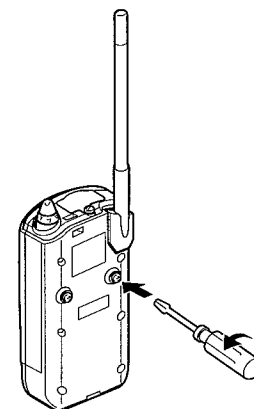
- ・ チャージャーの端子は、ゴミなどが付着しないように綿棒や乾いたやわらかい布で時々拭いてください。

## ■ベルトフックを取り付ける

ベルトフック取り付けねじ (3mm × 4mm) は、あらかじめ本体に取り付けてあります。

1. 本体裏側のねじ2本を取り外します。

2. 付属のベルトフックと本体のねじ穴を合わせて、ねじで止めます。



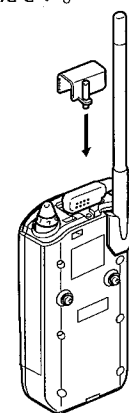
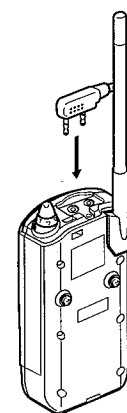
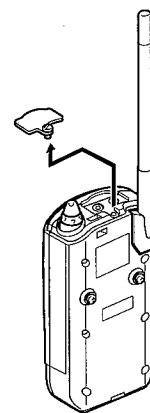
## ■スピーカーマイクロホンを取り付ける (オプション)

SP/MIC端子から内部へ水が侵入するのを防ぐために、マイクプラグ固定金具は必ず取り付けてください。

1. 本体上部のSP/MIC端子カバーのねじを10円玉でゆるめ、カバーを取り外します。

2. スピーカーマイクロホンのプラグを取り付けます。

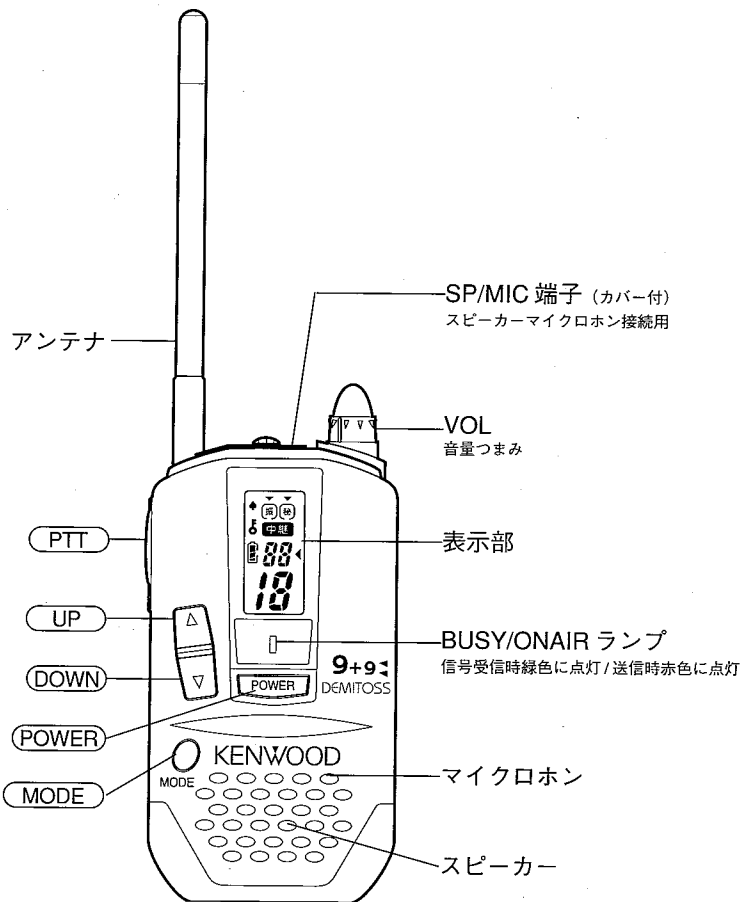
3. スピーカーマイクロホンのプラグを固定金具で止めます。ねじは10円玉を使って確実に締め付けてください。



(注意) スピーカーマイクロホンを取り外すときは、プラグ部をしっかり持って取り外してください。ケーブルを持って取り外すと、故障の原因となります。

## 各部の名称と機能

### ■本体



(UBZ-BG9R/BG11R の各部名称は同じです)

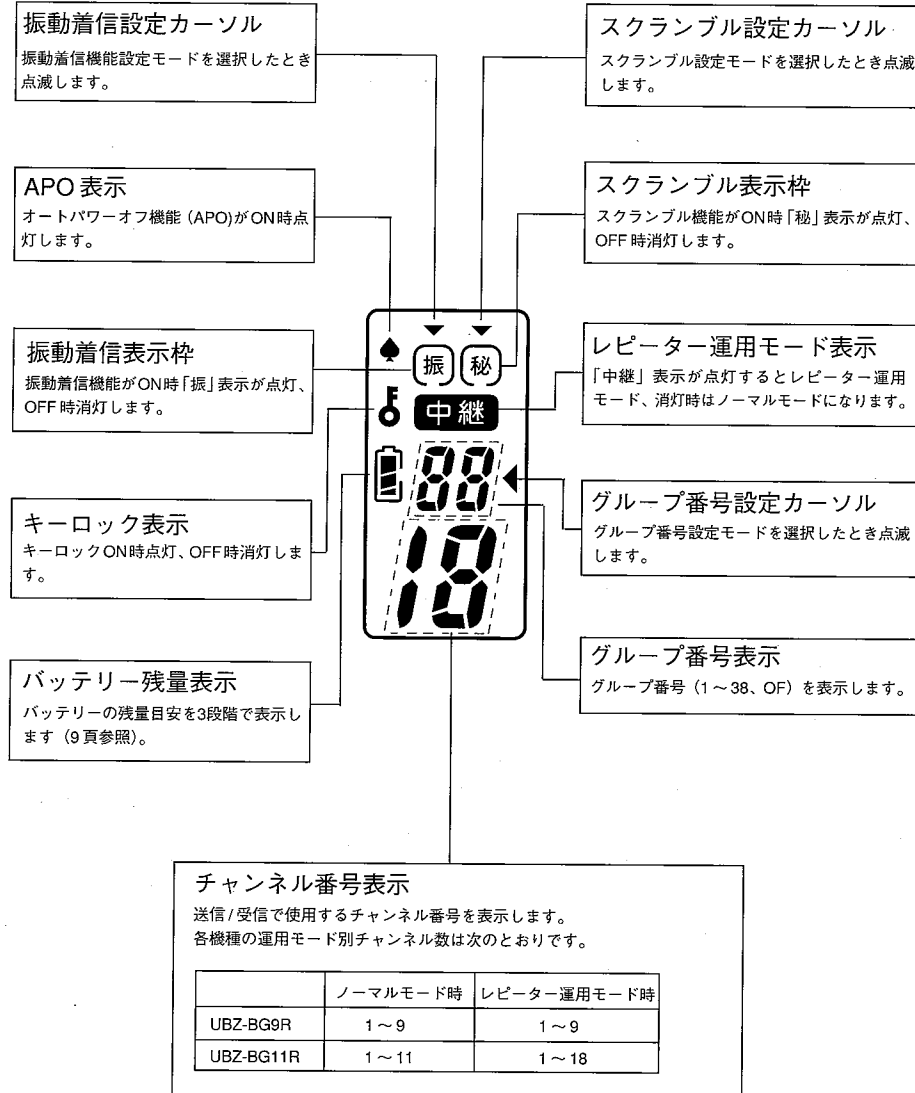
(参考)

○は操作で使用するキーの名称です。

キーの名称	通常の動作	1秒以上押した時の動作	キー+電源ON時の動作
○POWER	・電源のON/OFF	無し	
○PTT	・送信 (押し続けている間のみ) ・コールトーン1の送出 (+ DOWN) ・コールトーン2の送出 (+ UP)	無し	・コールトーン2の変更 (+ UP) ・コールトーン1の変更 (+ DOWN) ・運用モード切替 (+ MODE)
○UP	・チャンネルアップ ・オートチャンネルセレクト機能の解除 ・グループ番号のアップ (グループ番号設定時) ・スクランブル機能のON/OFF (スクランブル機能設定時) ・振動着信機能のON/OFF (振動着信機能設定時)	チャンネル/グループ番号の連続アップ	・ランプ常時点灯のON/OFF ・オールリセット (+ DOWN) ・コールトーン2の変更 (+ PTT) ・APOのON/OFF (+ MODE)
○DOWN	・チャンネルダウン ・オートチャンネルセレクト機能の解除 ・グループ番号のダウン (グループ番号設定時) ・スクランブル機能のON/OFF (スクランブル機能設定時) ・振動着信機能のON/OFF (振動着信機能設定時)	チャンネル/グループ番号の連続ダウン	・ビープ音のON/OFF ・オールリセット (+ UP) ・コールトーン1の変更 (+ PTT) ・常時モニターの設定 (+ MODE)
○MODE	・設定/変更する機能の選択、確定 (チャンネル→グループ番号→スクランブル→振動着信の順に選択) ・オートチャンネルセレクト機能の解除	無し	・キーロックの設定/解除 ・APOのON/OFF (+ UP) ・常時モニターの設定 (+ DOWN) ・運用モードの切替 (+ PTT)

## 基本的な通話のしかた（ノーマルモード編）

### ■表示部



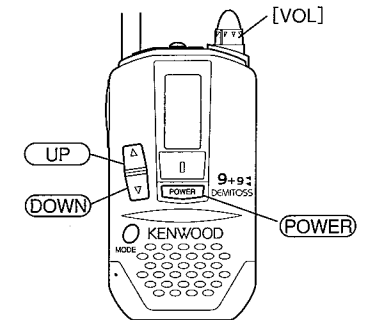
チャンネルを合わせるだけで通話できます。

相手と同一のチャンネルに合わせた後、送信、受信を交互に切り替えながら通話します。まず、2台で通話テストを行なってください。

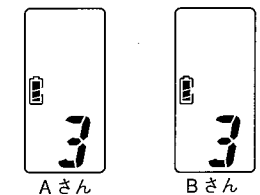
本機には2つの運用モードがあります。通話のしかたは、設定に合わせた頁をご覧ください。  
・ノーマルモード：15~17頁参照 ・レピーター運用モード：18~21頁参照

### ■準備

1. 電源を入れる  
 (POWER) を表示が出るまで押す。  
 電源が入り、表示が出ます。  
 (電源を切るときは、表示が消えるまで (POWER) を押してください。)
2. 運用モードを確認する  
 運用モードの切り替えは22頁を参照してください。
3. [VOL] を右に少し回し、音量を上げておく
4. (UP) か (DOWN) でチャンネルを合わせる



チャンネルは次の中から選べます。  
 ・UBZ-BG9R  
 ノーマルモード時 : 1~9チャンネル  
 ・UBZ-BG11R  
 ノーマルモード時 : 1~11チャンネル



3チャンネルに合わせたときの表示の例

(参考)

(UP) か (DOWN) を1秒以上押し続けると、その間チャンネル番号は早送りされます。

(注意)

- ・グループモードやスクランブルモードになっていたら解除してください。(24、26頁参照)
- ・設定したチャンネルをだれかが使っている時は、相手と打ち合わせのうえ他のチャンネルへ切り替えてください。



## さっそく通話してみよう

### 送信する

1. (PTT) (トークスイッチ) を押しながら話す



(PTT) を押しと“BUSY/ONAIR ランプ”が赤色に点灯し、送信状態になります。

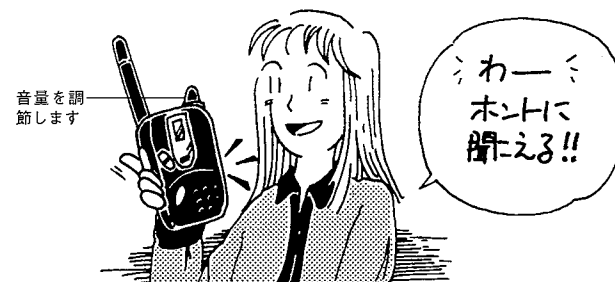
2. 話し終わったら、(PTT) を離す  
(PTT) から指を離すと受信待ち受け状態になります。

#### (注意)

- ・ (PTT) を押ししている間は送信状態、離すと受信状態になります。
- ・ 送信時はマイク部から口を5cm位離してお話してください。
- ・ “BUSY/ONAIR ランプ” が緑色に点灯中に、(PTT) を押しとピープ音が鳴り、送信はできません。“BUSY/ONAIR ランプ” が消えるまでお待ちください。
- ・ 1回に話せる時間は3分です。残り時間が30秒になると、カウントダウン表示でお知らせします。(36頁「通話時間終了予告機能」参照)。
- ・ キーロックしておく、通話中に間違ってもキーを押してもチャンネルやモードは変わらず安心です(33頁「キーロックする」参照)。

### 受信する

1. 待っているだけで・・・ほら、聞こえる、聞こえる!!



信号を受信すると“BUSY/ONAIR ランプ”が緑色に点灯します。

2. 応答するときは、(PTT) を押しながら話す  
操作は16頁「送信する」を参照してください。

#### ■他の通話モードをお使いになるとき

本機には基本の通話以外に、次のような通話モードもあります。必要に応じて設定してください(23頁「通話モードの設定」参照)。  
通話のしかたは、基本の通話と同じです。

- ・ グループモード --- 仲間どうして通話したいとき(23頁参照)。
- ・ スクランブルモード --- 他の人に聞かれないとき(25頁参照)。

## 基本的な通話のしかた (レピーター運用モード編)

(注意)

- ・網かけの頁(18~21頁)はレピーターを使う場合のみ必要な説明です。
- ・このモードではオプションのレピーター(UBZ-RG9/RG18)を併用しないと通話できません。

レピーター運用モードで通話するには、双方のチャンネルとグループ番号をレピーターのチャンネルとグループ番号に合わせておきます。準備が終わったら送信、受信を交互に切り替えながら通話します。まず、2台で通話テストを行なってください。レピーターに関しては、UBZ-RG9/UBZ-RG18に付属している取扱説明書をご覧ください。

### ■準備

#### 1. 電源を入れる

**POWER** を表示が出るまで押す。

電源が入り、表示が出ます。

(電源を切るときは、表示が消えるまで

**POWER** を押してください。)

#### 2. 運用モードを確認する

運用モードの切り替えは22頁を参照してください。

#### 3. [VOL] を右に少し回し、音量を上げておく

#### 4. **UP** か **DOWN** でチャンネルを合わせる

チャンネルは次の中から選べます。

- ・UBZ-BG9R  
レピーター運用モード時：1~9チャンネル
- ・UBZ-BG11R  
レピーター運用モード時：1~18チャンネル

#### 5. グループ番号を合わせる

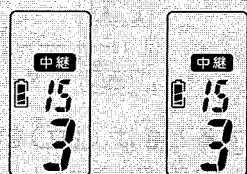
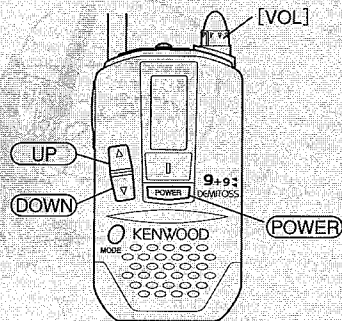
グループ番号の選択は23頁「グループモードの設定」を参照してください。

(参考)

チャンネル番号とグループ番号は、選択時に **UP** か **DOWN** を1秒以上押し続けると早送りされます。

(注意)

設定したチャンネルをだれかが使っている時は、相手と打ち合わせのうえ他のチャンネルへ切り替えてください。

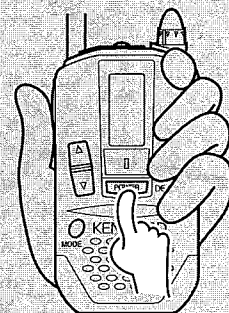


Aさん Bさん

3チャンネルとグループ番号  
15に合わせたときの表示の例

## ■通話終了告知機能の設定

レピーター運用モード時に本機能をONに設定しておく、自局の送信が終了したことを、相手局にピーブ音で知らせます。初期設定はOFFです。



ピブ：ONのとき  
ブッ：OFFのとき

1. レピーター運用モードに設定する  
確認や設定については22頁を参照してください。
2. いったん電源を切る
3. **PTT** を押しながら **POWER** を押す  
電源が入り、通話終了告知音(ピブ)が鳴ります。  
通話終了告知機能がONになりました。

OFFにするときは、上記の操作2、3を繰り返します。

電源が入り、キーOFF音(ブッ)が鳴ります。  
通話終了告知機能がOFFになります。

(注意)

- ・通話終了告知機能をONに設定しても、ノーマルモードでは動作しません。
- ・ノーマルモードでは通話終了告知機能をON、OFFすることはできません。

## さっそく通話してみよう

### 送信する

#### アクセス確認

#### 1. (PTT) を押し続けてレピーターアクセスを確認する

アクセス音 (ピッ) が鳴ったら (PTT) を押したままで、操作2へ移ってください。  
エラー音 (ピッピッピッ…) が鳴ったら1の操作を繰り返します。

#### 通話開始

#### 2. (PTT) を押しながら話す

次の通話からは、2と3の操作となります。  
アクセスが外れたり、通話時間が終了したら  
再度1から操作してください。



#### 3. 話し終わったら、(PTT) を離す

(PTT) から指を離すと受信待ち受け状態になります。

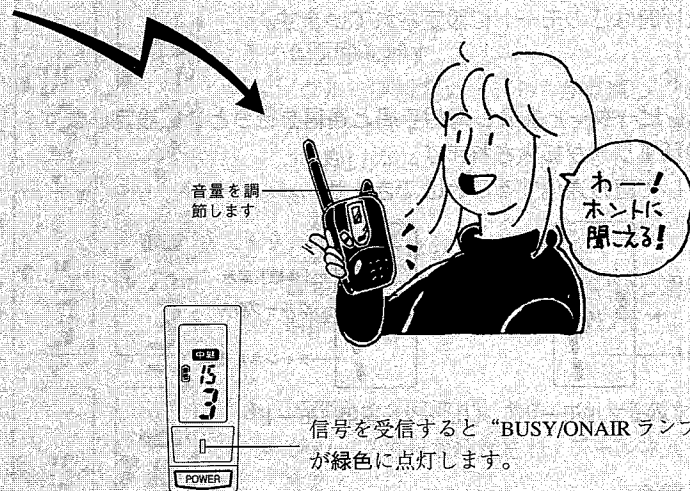
通話終了告知機能を ON に設定しておく、相手に送信終了をピープ音で知らせます。

#### (注意)

- ・ (PTT) を押し続けている間は送信状態、離すと受信状態になります。
- ・ 送信時はマイク部から口を5cm位離してお話ください。
- ・ 1回に話せる時間は3分です。残り時間が30秒になると、カウントダウン表示でお知らせします。(36頁「通話時間終了予告機能」参照)。
- ・ キーロックしておく、通話中に間違ってもキーを押してもチャンネルやモードは変わらず安心です (33頁「キーロックする」参照)。

### 受信する

#### 1. 待っているだけで・・・ほら、聞こえる、聞こえる！！



#### (注意)

- ・ レピーターの通話制限時間は3分です。通話時間が2分50秒になると予告音が鳴り、3分経過後通信を終了します。
- ・ 相手の送信が終わると「ピッ」と鳴り、音で知ることができます (相手が通話終了告知機能を ON に設定時のみ→19頁参照)。

#### 2. 応答するときは、(PTT) を押しながら話す

#### ■他の通話モードをお使いになるとき

本機のレピーター運用モードでは基本の通話以外に、次のような通話モードもあります。必要に応じて設定してください。  
通話のしかたは、基本の通話と同じです。

- ・ スクランブルモード - - - 他の人に聞かれないとき (25頁参照)。

## 運用モードの確認

本機には、次の2つの運用モードがあります。使用目的により、どちらのモードでも選択することができます。ただし、運用モードのちがう相手との通信はできません。

### ・ノーマルモード

⇒本機どうして直接相手局と通信を行うときに設定します。

レピーターを使用することはできません。

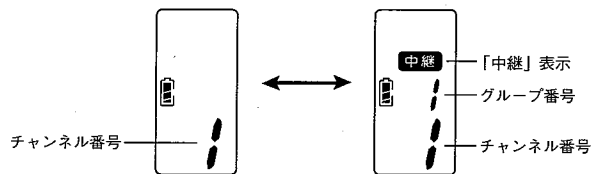
お買い上げ時はこのモードに設定されています。

### ・レピーター運用モード

⇒中継機（レピーター）を介して相手局と通信を行うときに設定します。

本機の通話エリアが拡大されます。

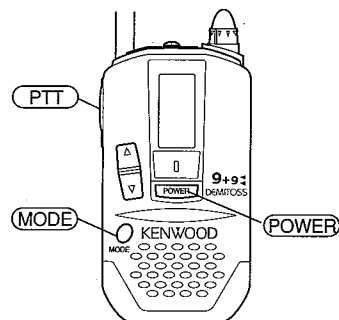
本機どうして直接通信することはできません。



ノーマルモード レピーター運用モード

## ■運用モードの切り替え

1. いったん電源を切る
2. (PTT) と (MODE) を押しながら、(POWER) を押す  
電源が入り、表示が点灯します。  
上記の操作を繰り返すたびに2つのモードが切り替わります。  
目的の運用モードを選択します。



### (参考)

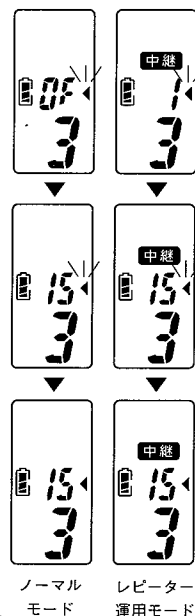
- ・運用モードは相手またはグループ全員が同じモードに設定しておかないと通信できません。
- ・レピーター運用モードに設定すると自局のチャンネル番号とグループ番号がレピーターのチャンネル番号とグループ番号に一致したときのみ通信可能となります。
- ・運用モードを切り替えると、チャンネル番号、グループ番号、オートチャンネルセレクト機能、スクランブル機能、振動着信機能はクリアされて初期設定値に戻ります。

## 通話モードの設定

通話モードを設定するときは、あらかじめグループ全員が同じチャンネルに合わせておいてください。

### ■グループモードの設定

チャンネルとグループ番号が同じ仲間の声だけが聞こえます。



#### 1. (MODE) を押す

“グループ設定カーソル” が点滅し、“OF”（レピーター運用モードでは、現在設定されている番号）が表示されます。10秒以内に次の操作をしてください。

#### 2. (UP) または (DOWN) を押す

設定するとき：“1～38”の中から選択します（例 15）。解除するとき：“OF”を選択します。

#### 3. (MODE) を3回押す。あるいは、そのまま10秒待つ

グループ番号が設定され、チャンネル設定モードに戻ります。

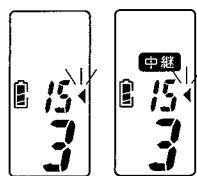
### (参考)

- ・グループ番号は1回設定すると、全チャンネルに共通で使えます。
- ・操作2で“OF”表示を選択すると、グループ番号は解除されます。
- ・操作2で (UP) か (DOWN) を1秒以上押し続けると、グループ番号は早送りされます。

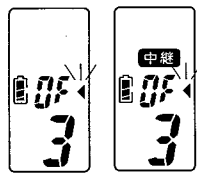
### (注意)

グループモードでも、同じチャンネルの電波は全て受信されます。他のグループがそのチャンネルを使っていると、音声は聞こえなくても受信状態になり“BUSY/ONAIRランプ”が緑色に点灯し、(PTT)を押してもプーと鳴り送信できません。

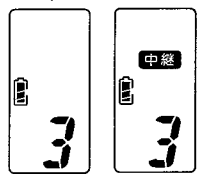
## ●グループモードを解除するには



1. (MODE) を押す  
“グループ設定カーソル” が点滅します。  
10 秒以内に次の操作をしてください。



2. (UP) または (DOWN) を押す  
“OF” を表示させます。



ノーマルモード      レピーター運用モード

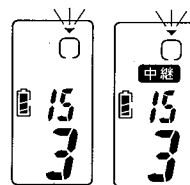
3. (MODE) を 2 回押す。あるいは、そのまま 10 秒待つ  
グループモードが解除され、チャンネル設定モードに戻ります。

(注意)

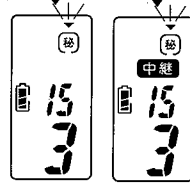
- ・レピーター運用モードで使用中にグループモードを解除すると、中継器（レピーター）は動作しなくなります。
- ・レピーター運用モードにおいて、グループモードを解除する場合、中継器のグループ番号も“OF” に設定してください。

## ■スクランブルモードの設定

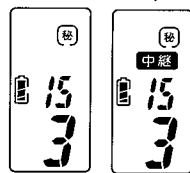
秘話になり、スクランブルモードに設定していない人には会話を聞き取れなくします。スクランブルはグループモードに対して設定されます、あらかじめグループモードに設定しておきます（23頁参照）。レピーター運用モードでは、そのままの状態を設定できます。



1. (MODE) を 2 回押す  
“スクランブル設定カーソル” が点滅します。  
10 秒以内に次の操作をしてください。



2. (UP) または (DOWN) を押す  
“秘” 表示を点灯させます。



ノーマルモード      レピーター運用モード

3. (MODE) を 2 回押す。あるいはそのまま 10 秒待つ  
スクランブルが設定され、チャンネル設定モードに戻ります。

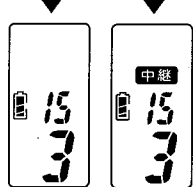
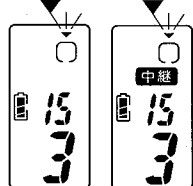
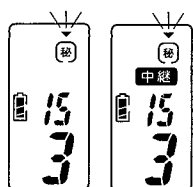
(注意)

スクランブルが設定されていても、グループ番号を“OF”にすると強制的にスクランブル設定はOFFになります。

(注意)

第三者でもグループ番号とスクランブルモードが一致した場合は傍受できます。高度な機密を要する通話に使うことはお勧めできません。

●スクランブルモードを解除するには



ノーマルモード      レピーター運用モード

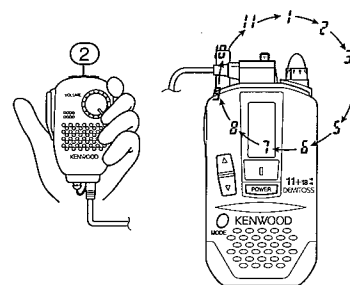
1. **(MODE)** を2回押す  
“スクランブル設定カーソル” が点滅します。  
10秒以内に次の操作をしてください。
2. **(UP)** または **(DOWN)** を押す  
“秘” 表示を消します。
3. **(MODE)** を2回押す。あるいはそのまま10秒待つ  
スクランブル通話モードが解除され、チャンネル設定モードに戻ります。

(注意)  
チャンネル、グループ番号、スクランブルの設定は通話する相手と同一に合わせてください。設定がちがうと通話できませんのでご注意ください。

便利な機能

■オートチャンネルセレクト機能 (注意: レピーター運用モードでは利用できません)  
(オプションのリモコン対応マイク接続時のみ)

あらかじめ仲間と設定しておいたチャンネルが混んでいて、いざ連絡したいときに話しができない。そんなとき、空いているチャンネルを自動的に捜してくれるのがオートチャンネルセレクトです。仲間を捜す目印にグループ番号を使います。全員、同じグループ番号にして、あらかじめグループモードまたはスクランブルモードに設定しておいてください。(23、25頁参照)



(UBZ-BG11Rの例)

1. 全員オプションマイクの②を1秒以上押す

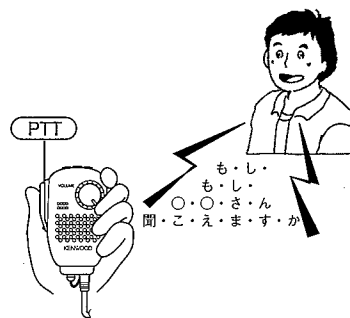
図のように“チャンネル番号表示”が変わり続けます。

(注意)  
スピーカーマイク背面のLOCKスイッチがONの場合、ボタンを押しても動作しません。

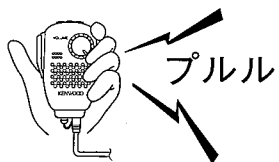
(参考)  
イラストのオプションマイクはSMC-34を使った例です。

2. 呼び出す側は  
**(PTT)** を2~3秒押し続ける

自動的に空いているチャンネルを捜し、そのチャンネルで一時的に停止(10秒)します。その後、通常よりゆっくり呼びかけた後、**(PTT)** を離し、相手はそのチャンネルで応答してくるのを待ちます。この間、チャンネル番号表示が点滅します。

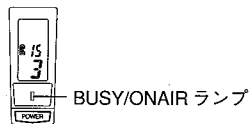






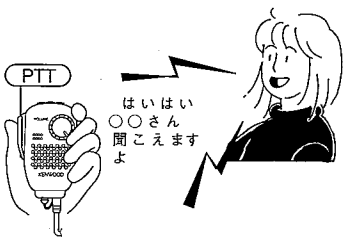
### 3. 呼び出される側は

“BUSY/ONAIRランプ”が緑色に点灯し、プルルと鳴って、チャンネル番号が点滅するので、呼び出されているのが分かります。



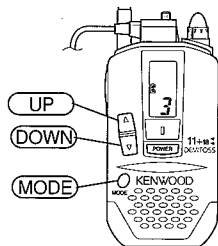
### 4. 呼び出されたら

“BUSY/ONAIRランプ”が消えるのを待って、(PTT)を押して応答します。応答は10秒以内に行なってください。10秒以上送信、受信が無いと、チャンネルセレクトを再開します。



#### ●オートチャンネルセレクト機能を解除するには

オートチャンネルセレクト中に(UP)(DOWN)(MODE)のいずれか、または、オプションマイクの②を押します。オートチャンネルセレクト機能は解除され、表示されているチャンネルを受信します。

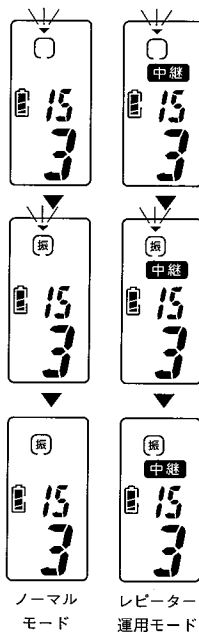


#### (注意)

レピーター運用モードでは、オートチャンネルセレクト機能は動作しません。

### ■振動着信機能

呼び出されたことを、本機の振動によって知ることができます。音を出したくないときや、騒音で音が聞こえないときなどに便利です。



#### 1. (MODE)を3回押す(グループ機能OFF時は2回)

“振動着信設定カーソル”を点滅させます。10秒以内に次の操作をしてください。

#### 2. (UP)、(DOWN)を押す

“振”表示を点灯させます。

#### 3. (MODE)を押す。または10秒間操作をしないている振動着信機能が設定され、約1秒間振動します。

#### (参考)

途中で解除するには、操作手順2.で“振”表示を消します。

#### ●呼び出されたとき

本機が約10秒間振動します。

#### 1. (PTT)を押し、送信します

振動は止まり、“振”表示が点滅します。

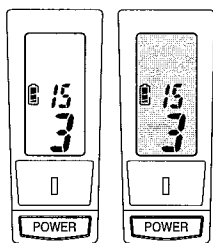
送信については16、20頁を参照してください。

#### (注意)

- レピーター運用モードのとき、送信してレピーターアクセスに成功すると、“振”表示は点滅します。アクセスに失敗すると“振”表示は点灯のままです。
- “振”表示が点滅中は相手から呼び出されても振動しません。
- “振”表示の点滅は30秒間送信せず、呼び出しもないときは点滅を終了します。
- グループ番号を設定している場合、そのチャンネルが信号を受信しても、グループ番号が一致しないときは振動しません。

## ■照明の常時点灯

暗い場所で操作するときに表示部がよく見えるように、照明ランプを常時点灯させる機能です。初期設定はOFFです。なお、通常は照明が自動的に点灯/消灯する自動照明機能になっています。(36頁「自動照明機能」参照)



ON時 OFF時

1. いったん電源を切る
2. **UP** を押しながら、**POWER** を押し、電源を入れる  
1、2の操作を行うたびに、照明のON/OFFが切り替わります。  
ONでは照明が常時点灯します。  
OFFでは自動照明機能になります。

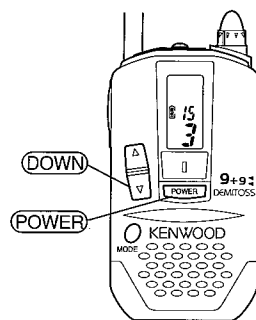
(注意)  
照明を常時点灯にするとバッテリーの消耗が早くなります。

## ■ビープ音を止める

キー操作をすると確認のためビープ音が鳴ります。この音が耳ざわりな時は止めることもできます。ただし、キー操作時のビープ音がOFFに設定されている時でも、動作上重要な意味を持つ次のビープ音は鳴ります。初期設定はONです。

- ・バッテリー警告音
- ・PLL アンロック音 (無効音)
- ・送信禁止音
- ・通信時間制限予告音
- ・APO 警告音
- ・レピーターアクセス音
- ・コールトーン
- ・レピーターアクセスエラー音
- ・通話終了告知音  
(設定ON時のみ)

1. いったん電源を切る
2. **DOWN** を押しながら、**POWER** を押し、電源を入れる  
1、2の操作を行うたびに、ビープ音のON/OFFが切り替わります。



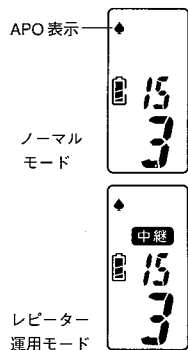
ON: キー操作時ビープ音が鳴る  
OFF: キー操作してもビープは鳴らない

(注意)  
キーロック設定中は、ビープ音のON/OFF切り替えはできません。



## ■ APO (オートパワーオフ) をセットする

電源を切り忘れたとき働く節電機能です。1時間59分なにも信号を受信せず、なんらかのキー操作もしなかった時は、電源の切り忘れと見なして告知音を鳴らし、さらに同じ状態が1分間続くと（合計2時間）自動的に電源が切れ、APO状態になります。

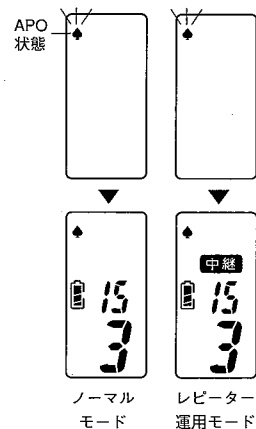


APO ON 状態の表示例

1. いったん電源を切る
2. (MODE)と(UP)を押しながら(POWER)を押し、電源を入れる  
APOがONになり、APO表示(◆)が点灯します。  
APOをOFFにするには1、2の操作を繰り返し、“◆”表示を消します。

APO機能が動作すると、自動的に電源が切れ、“◆”表示が点滅し、APO状態になります。

## ● APO 状態の解除



1. APO表示(◆)が点滅している事を確認する
2. (POWER)を押し、電源を入れる  
電源がONになり、APO状態が解除されます。

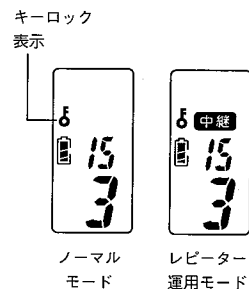
(注意)

- ・ APO (オートパワーオフ) 機能が動作して電源がOFFとなった状態では、(POWER)以外のキー入力はできなくなります。なお、この状態は電源OFFではありませんので、多少の電流は流れています。
- ・ モニター中、オートチャンネルセレクト中はAPOは動作しません。

## こんな事もできます

### ■ キーロックする (誤操作防止)

通話中はキーロックしておく、間違ってもキーを押してもチャンネルやモードは変わらないので安心です。



1. いったん電源を切る
2. (MODE)を押しながら、(POWER)を押して電源を入れる  
“♣”表示が点灯します。  
(POWER)(PTT)[VOL] 以外は動作しなくなります。

キーロックを解除するには上記の操作1、2を繰り返し、“♣”表示を消します。

### ■ 相手をコールトーンで呼び出す

相手を電話の呼出音のような音(コールトーン)で呼び出すことができます。各コールトーンは、操作時に設定されている音色で鳴り、確認することができます。

#### ● コールトーン1で呼び出す時

(PTT)を押したまま、(DOWN)を押す  
押している間コールトーン1が送信されます。

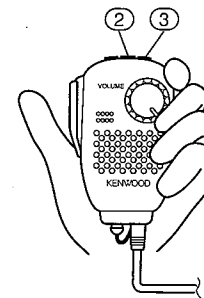
#### ● コールトーン2で呼び出す時

(PTT)を押したまま、(UP)を押す  
押している間コールトーン2が送信されます。

#### ● コールトーン3-1で呼び出す時

(オプションのリモコン対応マイク接続時のみ)

リモコン対応マイクの③を1回押す  
コールトーン3-1が3回送信されます。



#### ● コールトーン3-2で呼び出す時 (レピーター運用モード時のみ動作します)

(オプションのリモコン対応マイク接続時のみ)

リモコン対応マイクの②を1回押す  
コールトーン3-2が3回送信されます。

## ■コールトーンの音色を変更する

コールトーン1と2は音色を変更することができます。グループで通信を行う場合、個別にコールトーンを設定すると、呼び出し人を区別することができます。

### ●コールトーン1の音色を変更する

1. いったん電源を切る
2. (PTT)と(DOWN)を押しながら、(POWER)を押して電源を入れる  
操作1と2を繰り返すたびに2種類の音色が交互に切り替わり、変更されたコールトーンが鳴ります。

### ●コールトーン2の音色を変更する

1. いったん電源を切る
2. (PTT)と(UP)を押しながら、(POWER)を押して電源を入れる  
操作1と2を繰り返すたびに2種類の音色が交互に切り替わり、変更されたコールトーンが鳴ります。

(注意)

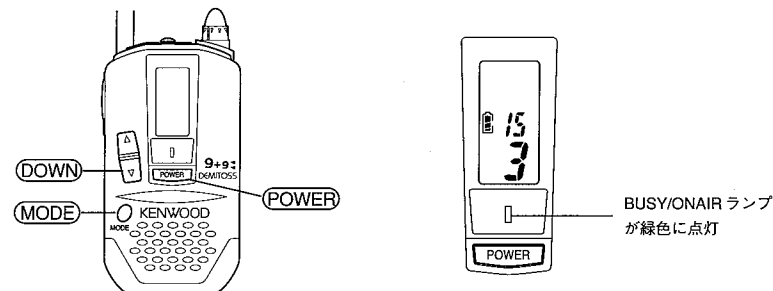
- ・ コールトーン3は、音色を変えることはできません。
- ・ コールトーン1、2の音色を変更した時点では、コールトーンは送信されません。

## ■モニター

受信音声が届いて聞き取れない場合はモニターにすると、雑音に混じって音声が入ることがあります。

### ●常時モニター

1. いったん電源を切る
2. (MODE)と(DOWN)を押しながら、(POWER)を押して電源を入れる  
“BUSY/ONAIRランプ”が緑色に点灯し、スピーカーから常時音が出るようになり、信号の状態をモニターできます。  
この機能を解除するには、電源を入れなおします。

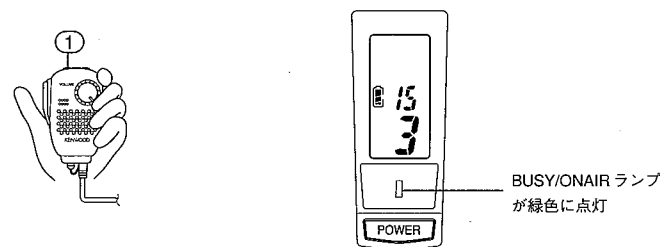


(注意)

ノーマルモードにてオートチャンネルセレクト機能をONにした場合、常時モニター機能は自動的にOFFになります。

### ●一時モニター (オプションのリモコン対応マイク接続時のみ)

1. オプションマイクの①を押す  
押している間だけ“BUSY/ONAIRランプ”が緑色に点灯し、スピーカーから音が出て、信号の状態をモニターできます。



(注意)

グループモードのときモニターにすると、そのチャンネルで受信した全ての音声が入ります。

## こんな機能もあります

### ■自動照明機能

キー操作時に表示部がよく見えるように、照明が自動的に点灯/消灯する機能です。電源を入れるとき点灯し、その後キー操作がないと5秒後に消灯します。また、キー操作を行うときも（PTT）の操作を除く）、自動的に点灯します。その後キー入力がないと5秒後に消灯します。この機能のON/OFFはできません。

（注意）

照明ランプ常時点灯がONに設定されている時は、本機能の動作にかかわらずランプは常に点灯しています。

### ■バッテリーセーブ機能

受信待ち受け状態でキー操作しない状態が10秒以上続くと、バッテリーセーブ機能が働き電池の無駄な消耗を防ぐ機能です。BUSY信号が検出されるか、キー操作が行われるとバッテリーセーブ動作は解除されます。この機能のON/OFFはできません。

（注意）

- ・オートチャンネルセレクト機能実行中は動作しません。
- ・モニター中は動作しません。

### ■通話時間終了予告機能

本機の1回の通話時間は、送信、受信を合わせて3分間です。通話終了の30秒前になるとグループ番号表示部の数字が点滅しながらカウントダウンを始めます。10秒前になると“ピッ”と予告音が鳴り、3分たつと送信禁止音と共に通信をストップし、受信待ち受け状態に戻ります。この機能のON/OFFはできません。

（注意）

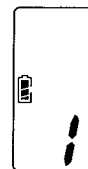
- ・続けて通話するときは、通信ストップ2秒後に（PTT）を押して相手を呼び出してください。
- ・送信禁止音は、（PTT）、リモコンマイクの③、リモコンマイクの②（レピーター運用モード時）キーを離すまで鳴り続けます。

## 故障かなと思ったら

修理を依頼される前に次頁の「症状による確認項目」を点検してください。それでも回復しない場合や、動作がおかしい場合、キーを押しても反応しない場合は、リセットしてみてください。

### ■オールリセット

設定してある内容は全て消去され、初期設定（工場出荷時の状態）に戻ります。



1. いったん電源を切る
2. （UP）と（DOWN）を押しながら、（PWR）を押して電源を入れる  
全ての表示が点灯します。
3. 押していたキーを離す  
ピープ音が鳴り、初期設定状態に戻り、ノーマルモードでチャンネル1が表示されます。

## ■症状による確認項目

### ●共通事項

症状	原因	処置 (参照頁)
電源が入らない。	バッテリーが切れている。	a. 充電する。(10頁) b. 予備のバッテリーと交換する。(9頁)
受信できない。 音量つまみを回しても音が出ない。	a. (PTT)が押されて送信中になっている。 b. グループ番号がちがう。	a. (PTT)をはなす。(16、20頁) b. グループ番号を相手と同じにする。(23頁)
相手と通話できない。	a. チャンネルかグループ番号が違う。 b. 相手との距離が離れすぎている。 c. 通話モードが違っている。	a. チャンネル、グループ番号を相手と同じに合わせる。(15、18、23頁) b. 7頁の通話のできる距離を目安に通話する。 c. 相手と同じ通話モードにする。(23頁)
どのキーを押しても表示が変化しない。	キーロックになっている。	キーロックを解除する。(33頁)
照明が消えない。	照明の常時点灯がONになっている。	「照明の常時点灯」の設定をOFFに切り換える。(30頁)
電池がすぐ無くなる。	照明の常時点灯をよく使う。	常時点灯は必要な時だけ使う。(30頁)
聞き取れない音声が入ったり、何も聞こえないのにBUSY/ONAIRランプが緑色に点灯する。	a. 同じチャンネルで別のグループ番号を使っているグループがいる。 b. スクランブル通話しているグループがいる。	そのチャンネルが空かないときはチャンネルを変更する。
チャンネルセレクトを止められない。	キーロックになっている。	キーロックを解除する。(33頁)
音量を大きくするとブーという音がする。表示がすぐ消える。	バッテリーが消耗している。	バッテリーを充電する。(10頁)
送信ができない。	BUSY/ONAIRランプが緑色に点灯している。	チャンネルを変更するか、BUSY/ONAIRランプが消えるのを待つ。(16頁)

### ●レピーター運用モード専用事項

症状	原因	処置 (参照頁)
レピーターにアクセスできない	アクセスエラー音が鳴らない a. レピーター運用モードになっていない。 アクセスエラー音が鳴る b. チャンネル番号、グループ番号がレピーターの番号と違っている。 c. レピーターとの距離が離れすぎている。	a. レピーター運用モードに設定する。(22頁) b. チャンネル番号、グループ番号をレピーターの番号と合わせる。(18、23頁) c. 7頁の通話のできる距離を目安に通話する。
相手と通話できない	a. 相手がレピーター運用モードになっていない。 b. 相手のチャンネル番号、グループ番号が違う。	a. レピーター運用モードに設定する。(22頁) b. グループ内のトランシーバー、レピーターは全て同一のチャンネル番号、グループ番号に統一する。(18、23頁)

## オプション

本機には、次のようなオプション (別売) が用意されています。

(注意)

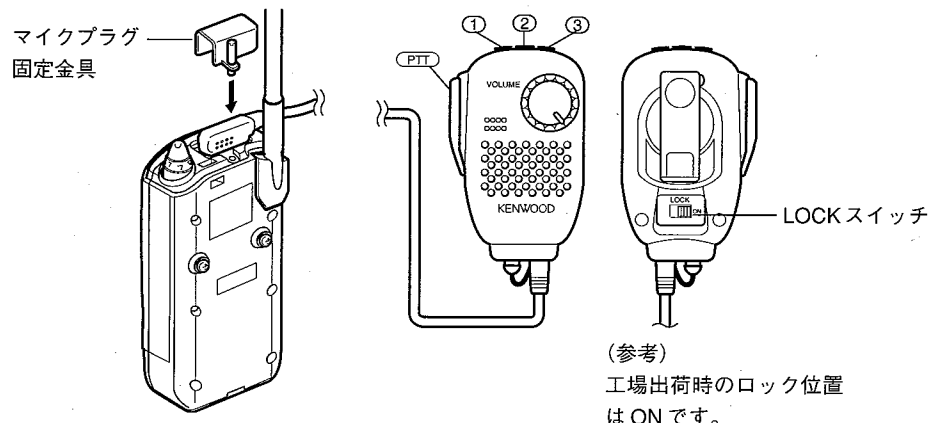
SMC-34はJIS保護等級2防滴II型相当です。その他のオプションは防滴構造ではありません。

- SMC-34  
リモコン対応ボリューム付スピーカーマイクロホン
- EMC-3  
イヤホン付クリップマイクロホン
- HMC-3  
VOX、PTT付ヘッドセット
- HMC-4  
リモコン対応VOX/PTT/TOT 切換式ヘッドセット
- HS-9  
プチホン型イヤホン
- UPB-3L  
リチウムイオンバッテリー (3.6V 600mAh)
- UBZ-RG9  
UBZ-BG9R用特定小電力中継機 (9チャンネル/室内用)
- UBZ-RG18  
UBZ-BG11R用特定小電力中継機 (18チャンネル/室内用)

## ■オプションの使い方

### ・SMC-34 (リモコン対応ボリューム付きスピーカーマイクロホン)

本機のSP/MIC端子に取り付けます。併せて、SP/MIC端子から内部へ水が浸入するのを防ぐために、マイクプラグ固定金具を取り付けてください。詳細は11頁を参照してください。



### PTT (トークスイッチ)

送信するとき、このスイッチを押しながら話します。

### ① (モニタースイッチ)

相手の声が聞き取りにくいとき、押します(35頁参照)。

### ② (オートチャンネルセレクトスイッチ)

1秒以上押しすと、電波を出している局を捜しはじめます。チャンネルを問わず同じグループ番号の人を捜します。もう一度押しすと、オートチャンネルセレクトは止まります(27頁参照)。

・レピーター運用モード時はコールトーンスイッチになります。

### ③ (コールトーンスイッチ)

電話のような音を3回鳴らして、相手呼び出すためのスイッチです。鳴らし終わると受信待ちになります(33頁参照)。

### LOCK スイッチ (背面)

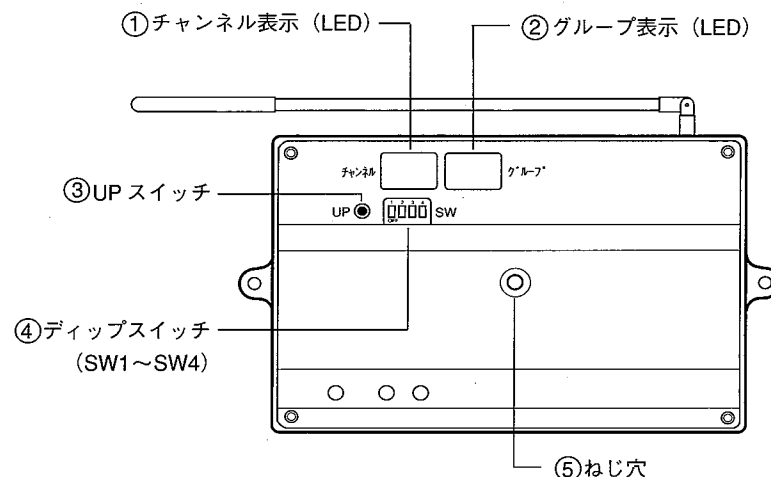
このスイッチをONにすると、マイクだけの機能になり、①～③のスイッチは使えなくなります。

### (注意)

本機のSP/MIC端子に、スピーカーマイクロホンを接続したときは付属のマイクプラグ固定金具を取り付けしないと、本体側は防滴にはなりません。

## ・UBZ-RG9/UBZ-RG18 (室内用特定小電力中継器)

レピーター運用モードのとき動作する中継器(レピーター)です。各種設定はUBZ-RG9/UBZ-RG18に付属の取扱説明書を参照してください。



### ① チャンネル表示 (LED)

チャンネル番号を表示します。ディップスイッチを切り替えて、UP スイッチを押すと表示が5秒間点灯し、押すたびにチャンネル番号が切り替わります。表示は5秒間操作しないでいると消灯します。

### ② グループ表示 (LED)

グループ番号を表示します。ディップスイッチを切り替えて、UP スイッチを押すと表示が5秒間点灯し、押すたびに番号が切り替わります。表示は5秒間操作しないでいると消灯します。

### ③ UP スイッチ

次の4つの機能を設定するとき押します。

- ・チャンネル表示とグループ表示のLEDを点灯させるとき。
- ・チャンネル番号を切り替えるとき。
- ・グループ番号を切り替えるとき。
- ・設定内容をリセットして、初期設定値に戻すとき。

### ④ ディップスイッチ (SW1～SW4)

機能を設定するとき使用します。

- SW1: チャンネル番号とグループ番号の設定
- SW2, 3: ハングアップタイムの設定
- SW4: 使用しません

### ⑤ ねじ穴

本機にふたを取り付けるとき、ねじ止めするのに使います。

## アフターサービスについて

### ● 保証書

保証書は、必ず所定事項（ご購入店名、ご購入日）を記入し、記載内容をお確かめの  
上、大切に保存してください。

### ● 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。正常なご使用状態でこの期間内に故障  
が生じた場合、保証書の規定に従って修理いたします。お手数ですが製品に保証書を  
添えて、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。

### ● 保証期間経過後の修理

保証期間が過ぎた後の修理については、お買い上げの販売店または当社サービスセン  
ターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合、お客様のご要望により  
有料で修理いたします。

### ● アフターサービス

アフターサービスについてご不明な点は、ご遠慮なくお買い上げの販売店または当社  
サービスセンターにご相談ください。

## 定格

送受信周波数	UBZ-BG9R ・ シンプレックス 422.2～422.3MHz （12.5kHzステップ）9チャンネル ・ セミデュプレックス 送信：440.2625～440.3625MHz （12.5kHzステップ）9チャンネル 受信：421.8125～421.9125MHz （12.5kHzステップ）9チャンネル  UBZ-BG11R ・ シンプレックス 422.050～422.175MHz （12.5kHzステップ）11チャンネル ・ セミデュプレックス 送信：440.0250～440.2375MHz （12.5kHzステップ）18チャンネル 受信：421.5750～421.7875MHz （12.5kHzステップ）18チャンネル
電波型式	F3E
周波数安定度	±4ppm（-10℃～+50℃）
消費電流	送信時（電源電圧3.8V時） 70mA以下 受信定格出力時 110mA以下 受信待受時 50mA以下 バッテリーセーブ時（平均） 約10mA
性能保証温度範囲	-10℃～+50℃
電源電圧（定格電圧）	DC 3.8V（マイナス接地）
送信出力	10mW
低周波出力	50mW以上（定格電圧、8Ω負荷、10%歪時）
時間制限装置	3分方式
通信方式切替機能	ノーマルモード：シンプレックス レピーター運用モード：セミデュプレックス
受信感度	-8dB $\mu$ 以下（12dB SINAD）
寸法 mm（突起物含まず）	幅（54）×高さ（98）×奥行（26）
質量（重量）	約140g（リチウムイオンバッテリーを含む）